



2025年（令和7年）6月3日
第3回藤沢市都市マスタープラン策定協議会
資料1

1 前回策定協議会の振り返り

前回策定協議会の振り返り

課題項目	意見	考え方
市民等意見について	市民アンケートは世代による意見の相違はあるか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1に補足資料を添付した。
	意見のまとめ（p20）で「都市全体の視点」、左側に「身近な地域社会の視点」とあるが意見は両スケールにまたがるものも多いのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 必ずしも4象限できれいに区分できないものもあるため、ご指摘の趣旨も念頭に検討を進める。
	市民が評価する暮らしやすさが本当に維持できるのかという意見は少なくなりがち。そこはしっかりと、議論すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見の主旨を踏まえ、「住みよさを育む都市づくり」他で検討を深める。
	湘南台の地域では、空き店舗が目立つなど商業的な発展が感じられない。まちづくりにおいてまだ足りない部分もあるのでマスタープランで将来に向けて改善すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住みよさを育む都市づくり」や「活力を創造する都市づくり」で検討する。
	長期的な視点も重要ですが、身近なところ、短期的な視点も大事にすべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見の主旨を踏まえ、検討を深める。
改定骨格について	「藤沢らしさ」とは何かを書き込んだ方がいいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「藤沢らしく持続する」を「持続可能な藤沢のまちづくりを進化させる」と改めた。
	レジリエンスという言葉をどのような意味で捉えるか。また防災以外の多様な意味も含まれるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見の主旨を踏まえ、検討を深める。
	事前復興まちづくりをどのような意味でマスタープランに位置づけるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市マスでは大まかな方針として位置づけ、今後計画を進める予定の事前復興の取組の中で検討する。

前回策定協議会の振り返り

課題項目	意見	考え方
改定骨格について	「ケア」というキーワードが欠けている。自分たちの生活圏の中で構築するかが重要。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住みよさを育む都市づくり」などで整理する。
	自助・共助の形での持続的な仕組みが作られる必要があり、「小さな場づくり」について場のイメージも含め盛り込むべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ひととつながるまちづくり」や「住みよさを育む都市づくり」、またプロセス編の中で整理したい。
	魅力的な目的地という移動の視点が今回の構成の中ではどこに位置づけられるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「美しさに満ちた都市づくり」での反映を想定している。
	「脱炭素」という言葉が「潤う」ことにつながるのか、むしろ相反する要素があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自然と融合する都市づくり」に改める。
	延焼リスクの備え（鵜沼地区を想定）をどのように考えるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「強さとしなやかさを持つ都市づくり」や地区プランの共通方針（防災）に記載する考え。
	「自立」とは何を指すか。市民に自立してくださいと求めているようにも取れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立と連携をバラバラに考えず自立するネットワーク都市としての説明に変更し、あくまで主語は都市として引き続き検討を進める。
	「自立」より「持続可能」や「ネットワーク」といった考え方に含まれるような、「連携」や「支え合い」などを強調すると分かりやすく伝わるのではないか	

前回策定協議会の振り返り

課題項目	意見	考え方
改定骨格について	「13地区別まちづくり」という言葉は消してしまうか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住みよさを育む都市づくり」の方針に「13地区や生活圏域に応じたきめ細やかなまちづくり」として残し、プラン編の13地区プランを継続
	「まちの基盤を磨き続ける」には2つの意味がある。1つは既存のインフラを改善し、人々が利用しやすくすること、もう1つは基盤を「ケア」し、維持していくこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市構造や「強さとしなやかさを持つ都市づくり」「美しさに満ちた都市づくり」、プロセス編の項目で整理する。
	「作る」ことが重要である一方で、活用や育成という視点も重要。「作る」だけでなく、作ったものを「育てる」ための手法とプロセスも	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見の主旨を踏まえ、検討を深める。
	「美しさに満ちた都市づくり」地域資源を活かしたまちづくりの視点だと思うが、「活かす」だけではなく「守る」視点も大切。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見の主旨を踏まえ、「美しさに満ちた都市づくり」他で検討を深める。
	「美しさ」というのは、単に外見や目に見えるものだけではなく、人々の感性に訴える街づくりを指すのではないか。	

(1) 市民アンケート結果概要

①実施概要（再掲）

1) 調査目的

- 都市マスタープラン改定にあたり広く市民意見を収集する

2) 調査対象

- 市内在住の15歳以上の方3,000名
- 抽出に当たっては、居住地区・年齢に偏りが出ないように配慮

3) 調査方法

- 配布方法：
アンケートを依頼するチラシを郵送で送付
- 回答方法：
Web上での回答

4) 調査実施期間

- 2/12（金）
～2/28（金）

5) 回収数

- 734件
- 24.5%

藤沢市都市マスタープラン改定に向けた
「市民アンケート」回答のお願い
～藤沢のまちで暮らす、あなたのご意見を教えてください～
Fujisawa Urban Master Plan
Questionnaire for Citizen

このご案内は、藤沢市在住の方3,000人に無作為抽出でお送りしています
藤沢市の都市計画に関する基本的な方針「藤沢市都市マスタープラン」を改定するにあたり、藤沢のまちでの暮らし、まちへのご意見等を広く市民の皆様へにお聞きする『市民アンケート』を実施します。
ご多用中とは存じますが、よりよい藤沢のまちづくりに向け、ご協力をお願いいたします。

回答のしかた
・パソコン・スマートフォン等から、右の二次元コードを撮影し、ご回答ください。
・詳細は別添のチラシを参照してください。

回答の締切
2025年(令和7年)
2月28日
までに回答をお願いします。

回答に当たってのお願い
・アンケートにおいて、あなたのお住まいの地区を(13地区区分による)をお聞きしています。回答にあたっては、ウチノまちの「13地区区分図」を参照してください。

お聞きすること
・あなたのお住まいのまちで、これから建設予定
・あなたのお住まいのまちの魅力とまちづくりの方向性
・あなた自身について(性別、年代、職業等)
・藤沢市のまちづくりに関するご意見
ほか

※本アンケートの回答は全て統計的に処理し、個別目的以外に使用することはありません。

アンケート依頼チラシ

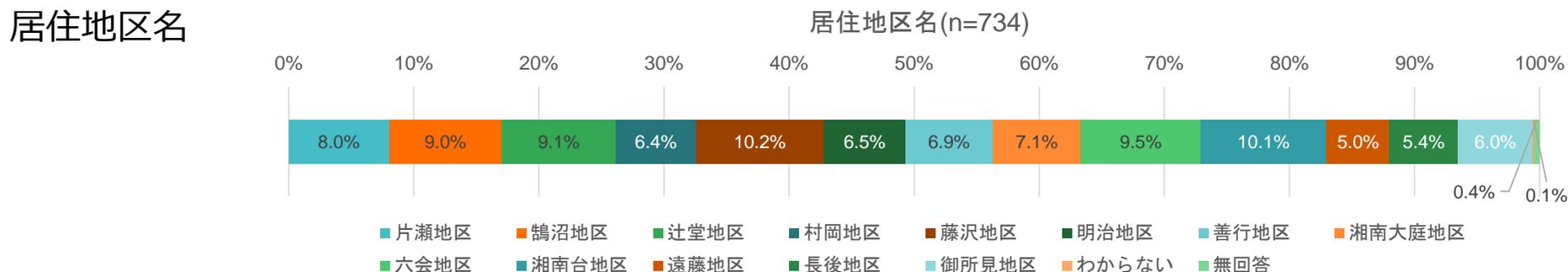
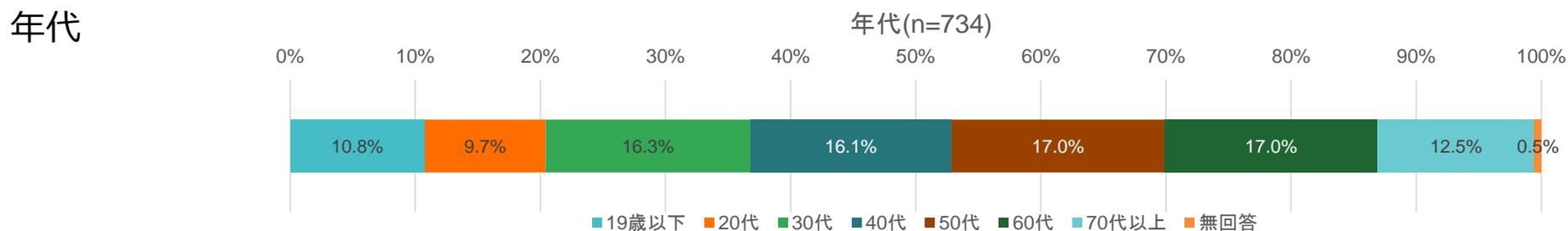
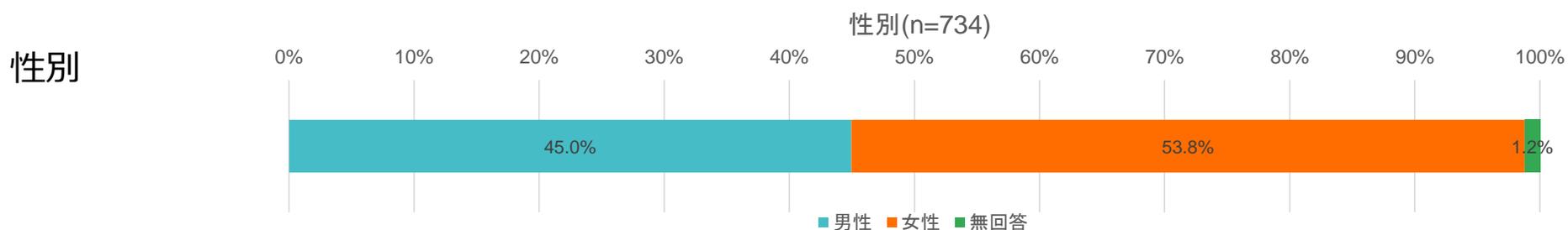
● アンケートの設問

区分	各問を聞く意味／狙い
問1	回答者のふだんの暮らしの行動 ・通勤・通学先、買物の場所 休日の外出先等の把握
問2	回答者の住むまちの魅力、望む暮らしのあり方 (各項目4段階評価) ・回答者が感じる地域の魅力と、望む暮らしのあり方 (ライフスタイル)の把握
問3	藤沢のまちの魅力と将来のあり方 (各項目4段階評価) ・藤沢市全体の現在の魅力と目指すべき都市像に対する考え方を把握
問4	回答者自身について (フェイスシート) ・性別、年代、職業、住所 (町名・字名まで)、居住地区
問5	自由記述 ・自由意見、まちをよりよくするためのアイデア等

(1) 市民アンケート結果概要

② 結果概要より

回答者の属性 (p47)



(1) 市民アンケート結果概要

②結果概要より

通勤・通学先について (p2)

あなたの通勤・通学先はどちらですか。

- 市外への通勤・通学者が45.1%
- 村岡地区で6割超、片瀬・鵜沼・湘南台各地区では5割超が市外に通勤・通学
- 19歳以下、20代は6割超が市外通勤・通学。ただし、19歳以下は多くが横浜・鎌倉・茅ヶ崎の隣接市へ通勤・通学

日用品※の買い物先 (p4)

日用品の買い物は主にどこでしますか。

- 全体では藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅各周辺が概ね20~30%でほぼ同割合
- 各地区ともそれぞれの最寄り駅周辺を挙げる回答が多い

※食料品・日用雑貨

買回り品※の買い物先 (p6)

買回り品の買い物は主にどこでしますか。

- 全体では藤沢駅、辻堂駅各周辺が概ね25~30%でほぼ同割合なのに対し、湘南台駅は8.7%にとどまる
- 各地区とも、辻堂駅周辺地区の割合が日用品の場合より高い

※家具・家電・娯楽品・洋服等

(1) 市民アンケート結果概要

②結果概要より

休日の外出行動 (p8)

休日に外出するとき、どんなことをすることが多いですか。

- 「買い物」「食事」「外出せず自宅で過ごす」の回答が全体として高い
- 一部の地区で特に高い項目：
 - 片瀬・鵜沼・藤沢地区→海や湖に行く
 - 村岡・明治・遠藤地区→公園に行く
- 一部の年代で特に高い項目：
 - 30~40代→公園に行く/海や湖に行く
 - 50代以上→寺社や名所・旧跡に行く

休日の外出先 (p14)

休日の外出先の場所をお答えください。

- 藤沢市内を挙げる回答が全体の8割以上
- 横浜市内を挙げる回答が湘南台地区(63.5%)、村岡地区(51.1%)と特に高い
- 20代は横浜市内(60.6%)、東京都内(46.5%)が他世代より10ポイント以上高い

休日によく行く場所 (p20)

休日によく行く場所がありましたら、具体的にお答えください。

- テラスモール湘南、湘南モールフィルなど、**大型ショッピングモール**を挙げる回答が多い
- そのほか、引地川親水公園などの**公園**、江ノ島・鎌倉など観光地を挙げる回答が多い

(1) 市民アンケート結果概要

②結果概要より

自分の住むまち（自宅から徒歩圏）について（p21）

自分の住むまちな魅力はどんなところだと思いますか。

- 全体として「みどりが豊か」「静かな環境」といった**良好な住環境を評価**する項目の肯定的評価割合※が80%以上と高い
- 「**文化的に充実**」「**職場が近い**」は地区別・年代別を問わず**評価が低い**
- 「**店舗・飲食店等が充実**」の肯定的評価割合は、**地区により差が大きい**
 - 市全体：64.1%
 - 明治地区：95.8%、辻堂地区83.6%
 - 御所見地区：22.8%、善行地区38.2%

【以下は結果概要未掲載】

- **19歳以下、20代**は「**店舗・飲食店等が充実**」の肯定的評価割合が市全体より10ポイント以上高い。
- **50代、70代**は「**歴史を身近に感じる**」の肯定的評価割合が市全体より10ポイント以上高い。
- 記述意見において、特に**海沿いの地区**（片瀬・鵜沼・辻堂）では「**海が近い**」ことを挙げる意見が多くみられる。

自分の住むまちでこれからどんな暮らしをしていきたいと思いますか。

- 全体として「静かな環境の暮らし」「健康づくりのための環境が整った暮らし」「屋外の居心地の良い場所のある暮らし」など**自然、健康を志向**する項目の肯定的評価割合が90%以上と高い
- 一方、「**職場が近い暮らし**」の肯定的評価割合は67.3%と**比較的低い**
- 地区別で肯定的評価割合が上位となる項目に特徴が見られた
 - **片瀬地区**：「**歴史を身近に感じる暮らし**」89.8%
 - **鵜沼地区**：「**文化的に充実した暮らし**」95.5%
 - **湘南大庭・六会・湘南台地区**：「**店舗・飲食店等が充実した暮らし**」94.2~98.6%

【以下は結果概要未掲載】

- **20代~40代**は「**職場が近い暮らし**」の肯定的評価割合が市全体より10~15ポイント高い

(1) 市民アンケート結果概要

②結果概要より

藤沢市のまち全体について (p37)

藤沢市の魅力はどんなところにあると思いますか。

- 全体として「気候が穏やか」「都心に通いやすい」「自然が豊か」など現状の暮らしやすさのほか、「江ノ島など観光地が充実している」に対する肯定的評価割合が各90%以上と高い
- 「職場が近い (35.7%)」「災害に強い (41.4%)」「良い雇用が多く、働きやすい (44.7%)」の肯定的評価割合は比較的低い
- 年代別に大きな差異は見られなかった
- 【以下は結果概要未掲載】
- 一部の地区で特に高い項目：
 - 片瀬地区→歴史・文化的資源が充実
 - 藤沢地区→働きやすい
 - 善行地区→クリエイターが活躍しやすい
 - 湘南大庭地区→職場が近い
- 一部の地区で特に低い項目：
 - 善行・長後地区→買い物がしやすい
 - 遠藤地区→歴史・文化的資源が充実
 - 片瀬地区→災害に強い
- 記述意見では、利便性と自然の豊かさがバランスよく共存していることへの評価が多くみられた

これから藤沢市が目指すまちのあり方として、何が重要と考えますか。

- 「災害に強い」「みどりが充実」「住宅地・商業地の充実」「市民・コミュニティ活動のしやすさ」などを重視する意見が約9割と高い
- 「観光地としてにぎわいある」(71.5%)「企業やクリエイターの活躍がしやすい」(76.4%)の肯定的評価割合が相対的に低い
- 次いで「産業都市(働く場)として充実」(80.2%)は相対的に肯定的評価割合が低く、住宅都市としての志向が強いことが浮き彫りに
- 地区別・年代別に大きな差異は見られなかった
- 記述意見としては、「全世代が住みやすいまち」「災害対策の強化」「渋滞・交通インフラの改善」「観光客誘致と住民生活のバランス」といった意見が多く出された

(1) 市民アンケート結果概要

② 結果概要より

各地区別・記述意見から

- ①片瀬地区
 - 「海が近く、散歩・ウォーキングに最適」「観光地が身近にあるのが良い」「魅力のある飲食店が多い」「地域活動が盛んで、人と人がつながりやすい」「高齢者でも買い物に困らないようになってほしい」
- ②鵜沼地区
 - 「海が近い」「静かな住環境」「買い物・診療所等が近く日常生活が便利」「地域活動を通じた仕事ができる環境がある」「安全な道路の整備など交通環境が向上してほしい」
- ③辻堂地区
 - 「海や公園が近い」「都市の利便性と自然の豊かさが同居している」「湘南という地名がぴったり当てはまるスローライフなまち」「若い家族が増えてまちに活気が出ている」「渋滞を改善してほしい」
- ④村岡地区
 - 「駅が近く、公共交通が充実している」「日用品の買い物が便利」「子育てがしやすい」「渋滞の解消を望む」「大型商業施設、飲食店などができるとよい」
- ⑤藤沢地区
 - 「駅が近く便利」「日常の買い物が便利」「昔ながらの街並みが良い」「駅周辺の交通渋滞の解消を」「映画館・図書館など、まちなかに文化的なスポットができるとうれしい」
- ⑥明治地区
 - 「商業施設をはじめ各施設が充実している」「交通の便が良い」「引地川親水公園が近いのが良い」「交通渋滞が減ってほしい」「家が増えてみどりが減っている」
- ⑦善行地区
 - 「静かで落ち着いている」「富士山や田畑の眺望が良い」「公園が多い」「近くにスーパーや飲食店など商業施設がほしい」
- ⑧湘南大庭地区
 - 「生活利便施設がそろっている」「自然が豊か」「周りの人たちが優しく住みやすい」「飲食店がもっとあるとよい」「今ある自然を残してほしい」
- ⑨六会地区
 - 「静かで落ち着いている」「駅が近く買い物に便利」「子育てがしやすい」「大学のキャンパスがある」「川沿いの桜など自然が適度にある」「家の近くにスーパーなどがあるとよい」「大学のあるまちにふさわしい店舗や施設がほしい」
- ⑩湘南台地区
 - 「鉄道が3路線乗り入れていて便利」「買い物に便利」「自然が豊か」「学生が多く活気がある」「歩道を安全に歩きやすくしてほしい」「駅前に空き店舗が目立つ」
- ⑪遠藤地区
 - 「自然が豊か」「買い物施設が充実している」「農作業をしている人が多いので子どもの登下校が安心」「バス便が減って困っている」「北部地区の活性化を望む」
- ⑫長後地区
 - 「野菜や果物の直売所がある」「静かで治安が良い」「小さなまちだがまとまっている」「歩道を整備してほしい」
- ⑬御所見地区
 - 「自然が豊かで人が優しい」「富士山が良く見える」「畑しかないから静か」「交通の便が良くなってほしい」「歩いて行ける場所にお店があってほしい」